

院友子弟等特別選考

小論文・筆記・面接試験あり

[文学部] [神道文化学部] [法学部 (法律学科 法律専攻・政治専攻)] [経済学部] [人間開発学部] [観光まちづくり学部]

第1次出願期間 (消印有効)	令和7年9/1(月)～9/5(金)	第2次出願期間 (消印有効)	10/6(月)～10/10(金) ※入学検定料の納入は第2次出願時に行います。	第2次選考 試験日	神道文化学部・経済学部 10/19(日)	神道文化学部・経済学部以外 11/9(日)
合格発表日	第1次選考 (書類選考) 9/24(水)	第2次選考 (最終) 11/1(土)	神道文化学部 経済学部 11/19(水)	神道文化学部 経済学部以外 11/19(水)	入学手続期間 (消印有効)	神道文化学部 経済学部 11/1(土)～11/7(金) 神道文化学部 経済学部以外 11/19(水)～11/26(水)

出願資格・出願要件・選考方法

【出願資格】 全学部共通

以下の(1)～(3)すべての要件を満たす者。

- (1) 一般選抜入試の出願資格(P.008)に準ずる。
 - (2) 院友会の会員[本学 (大学院・専攻科・別科・國學院大學幼児教育専門学校等を含む) の卒業・修了者、または本学・法人・姉妹法人の現職専任教職員など] の二親等以内の親族 (配偶者・姻族含む) であること。なお、出願資格の確認は提出書類に基づいて大学が行う。
 - (3) 本学への入学を第1希望 (単願) とする者。
- ※出願資格等で不明な点がある場合は、入学課(03-5466-0141)までお問い合わせください。

【出願要件】 文学部 外国語文化学科、経済学部 のみ

英語検定試験でCEFRのA2以上のスコアを持つ者。なお、利用可能な検定試験の種類およびCEFRレベルの基準については、B日程[英語検定試験の利用について] (P.012) に示す一覧表に準ずる。

神道文化学部

英語検定試験でCEFRのスコア (令和5年4月以降に取得したもの) を持つ者。

【選考方法】

■第1次選考

書類選考 (全学部共通) ※出願資格の確認を含む。

- ① 志望理由書 (1,000字程度)、② 活動レポート (文、神道文化、経済、観光まちづくり学部のみ・詳細は入学試験要項で確認すること)、③ 英語検定試験におけるCEFRのA2以上のスコア証明書 (文学部 外国語文化学科、経済学部 経済学科・経営学科のみ・P.014参照)、英語検定試験におけるCEFRのスコア証明書 (神道文化学部のみ) ④ 課題レポート (内容は下記を参照)、⑤ 高等学校調査書等により選考する。

〈課題〉次の本を読み、後の問いに答えなさい。

佐伯啓思著『自由とは何か』(講談社現代新書、2004年)

- (1) 本書の前半部のうち、第2章『「なぜ人を殺してはならないのか」という問い」、第4章「援助交際と現代リベラリズム」を、1,000字以内で要約しなさい。
- (2) 本書の後半部 (第5章「リベラリズムの語られない前提」、第6章『「自由」と「義」』) で、これまで自らが考えていた「自由」と本書の該当箇所が述べる「自由」との違いについて、新たに発見したことも含めて、1,000字以内で述べなさい。

※なお、ネット上には「自由」に関する文章が多くみられるが、そのまま書き写したり、アイデアを剽窃したりする場合、大幅な減点となる。自ら考えたことを述べることを。

■第2次選考

公募制自己推薦 (AO型) 第2次選考と共通 (神道文化学部・経済学部を除く)。神道文化学部・経済学部は公募制自己推薦 (AO型) 第1次選考および第2次選考に準じて実施します。詳細はP.015-P.020を参照してください。

文学部 日本文学科

- ① 筆記試験 (古文を読んだの論述、全体で1,000字程度、90分)

※入学試験要項で指定する古語辞典のみ持ち込み可。

- ② 面接試験 (約20分)

文学部 中国文学科

- ① 授業の受講とレポート作成 (120分)

授業 (50分) を受け、授業内容に関するレポート (1,000字程度、70分) を作成する。

- ② 面接試験 (約20分)

文学部 外国語文化学科

面接試験 (約20分)

大学での勉学・研究に対する目的意識、修学意欲などについての面接を行う (英語による質疑応答を含む)。

文学部 史学科

- ① 論述試験 (全体で1,000字程度の論述、90分)

- ② 面接試験 (約20分)

文学部 哲学科

- ① 小論文試験 (1,000字程度、90分)

あらかじめ次の課題図書2冊のうち1冊を選択して読んでいることを前提とした試験を行う。課題図書は、試験当日2冊とも持ち込み可とし、解答に使用する図書は問題を見た後で決定してよい。なお、図書に書き込みをすること、頁を折り曲げることは可とするが、別紙を持ち込むこと、付箋を貼ることは認められない。

〈課題図書〉

Eトウエージェントハットほか『ぼくたちの倫理学教室』(平凡社新書)

伊藤亜紗『目の見えない人は世界をどう見ているのか』(光文社新書)

- ② 面接試験 (約20分)

神道文化学部 神道文化学科

- ① 総合問題試験

「神道と宗教に関する問題」を出題し、神道文化学部での学びを深めるうえで求められる、神道文化・宗教文化に関連する知識や表現力を問います。

- ② 面接試験 (約20分)

法学部 法律学科 (法律専攻・政治専攻)

- ① 自己アピール (5～10分)

- ② 面接試験 (20分程度)

※第2次出願の際に、公募制自己推薦 (AO型) 第1次選考で課したものと同一「レポート」と「エントリーシート」を提出 (P.018参照)。

経済学部 経済学科・経営学科

- ① 総合問題試験 (90分、1,000～1,500字程度)

※公募制自己推薦 (AO型) 第1次選考と共通 (P.019参照)。

- ② 面接試験 (約20分)

※公募制自己推薦 (AO型) 第2次選考と共通。詳細は入学試験要項で確認すること。

※別途、第2次出願時に、「エントリーシート」の提出を求める。詳細は入学試験要項で確認すること。

人間開発学部 初等教育学科・健康体育学科・子ども支援学科

- ① 小論文試験 (1,000字程度、90分)

- ② 【初等教育学科・健康体育学科】面接試験 (約15分)、【子ども支援学科】面接試験および口頭試問 (約20分)

※第2次出願の際に「エントリーシート」と「活動報告書および添付資料」を提出。

観光まちづくり学部 観光まちづくり学科

面接試験 (約20分)

※公募制自己推薦 (AO型) 第2次選考と同一の面接試験を行う。なお、第2次出願時に、公募制自己推薦 (AO型) 第1次選考で課したものと同一「地域分析レポート」・「解決策提案シート」の提出を求める (P.020参照)。